

平成19年 1月16日

中学校技術・家庭科研究会各ブロック長 様
各ブロック ロボットコンテスト担当者 様

創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会運営事業部
事業部長 税 所 要 章

全日本中学校技術・家庭科研究会主催 創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会のあり方について

各地区担当者様におかれましては、全日本中学校技術・家庭科研究会主催創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会に多大なる理解とご協力を賜りまして誠に有難うございます。

さて、皆様方のご協力の甲斐もあり、創造アイデアロボットコンテストも第7回を迎え、また全国で取り組まれている学校数も大幅に増え、大変喜ばしいことと感謝しております。しかし、全国的に広まりを見せる一方、創造アイデアロボットコンテストの本来の開催趣旨が薄れ、独自の解釈でロボコンに取り組まれている先生・生徒も増えているのではないかと懸念しております。

そこで、全国の担当者様ならびに取り組まれている学校の先生・生徒に対して創造アイデアロボットコンテストの開催趣旨を今一度、徹底していただくために、下記の点を周知していただきますようお願い申し上げます。

- ・創造アイデアロボットコンテストは、学習指導要領に基づいた技術・家庭科の授業の取り組みとして製作されたロボットの発表の場である。
- ・試合の勝ち負けではなく、工夫し創造する力に重点を置きロボットの機構や材料の加工、チームワークなど技術・家庭科教育と人間性の育成に努めるものである。
- ・試合はひとつの発表の場である。従って相手を妨害したりするのではなく、正々堂々と自分の作業に専念し、ロボットのパフォーマンスを発揮する場である。対戦形式としているのは緊迫感や楽しさなどを演出するものであり、「勝ち負け」を追求するものではない。
- ・A部門に関しては、必修および選択の授業で製作に取り組める入門編として位置付け、学校の事情に合わせ、個人またはグループで対応できるものとする。
- ・B部門に関しては、選択や総合的な学習の時間などの学校教育活動全般で取り組めるものとし、A部門を経験した生徒のレベルアップの部門として位置付ける。また、協調性など人間教育の観点からグループでの活動で製作を行うものとする。
- ・C部門に関しては、A・B部門の枠にとらわれずに製作したロボットのパフォーマンスを紹介したり、各地区および各校で取り組まれている御当地ロボコンの紹介を目的とした部門であり、ビデオ編集大会ではない。また、著作権等に十分に配慮することとする。
- ・上記の点に十分に配慮し、教育者としての視点に留意され指導に当たられるようお願い申し上げます。

創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会公式Webページ
URL <http://ajgika.ne.jp/~robo>